

Q. セレガード DS とセレガード DS-I って何が違うの？ 使い分けはどうしたらいいの？

A. 『セレガード DS-I って製品増えたけど何が違うの？』 という問い合わせが多く聞かれます。



従来から販売している『セレガード DS』も新しくラインナップした『セレガード DS-I』もどちらもケイ酸質系塗布防水材になります。

いずれも、(一社)日本建築学会の「建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事」の第3節(以下、JASS8)に掲載されているケイ酸質系塗布防水材に分類される防水材で、ケイ酸質系塗布防水材としてその防水のメカニズムや品質について検証され規格化されたものになります。

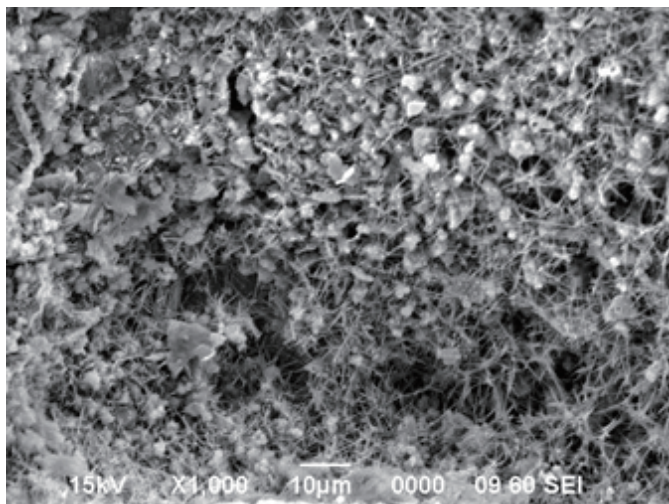


写真 1 ケイ酸質塗布防水材の特徴である針状結晶 (×1000)

JASS8 ではケイ酸質系塗布防水材は、Iタイプ(樹脂なし)とPタイプ(樹脂入り)に分類されています。しかし、品質規格(表1)や試験方法等はIタイプとPタイプで変わるものではなく、同等の性能であることが述べられています。

表 1 ケイ酸質系塗布防水材の品質

項目	内容
針状または繊維状結晶	無塗布試験体の2倍以上
透水係数	無塗布試験体の1/3以下

その違いについては既往の研究で、Iタイプの方が長期的に生成する結晶量が多い傾向にあること、浸透深さがPタイプよりも深い傾向にあることなどが報告されています。

逆にPタイプは、樹脂が混入されていることで、防水材のコンクリートとの接着性が良好であること、結晶が生成されるまでの初期防水性が高いことなどがあげられます。従って一般的には、使い勝手はPタイプのほうが良いと考えます。

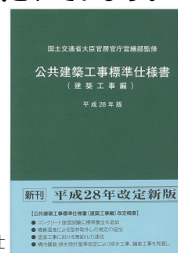
工法としてはIタイプを使用するC-UIと、Pタイプを使用するC-UPに分類されています。

表 2 防水層の種類別

工程	種別	C-UI Iタイプ (セレガード DS-I)	C-UP Pタイプ (セレガード DS)
	1	下地処理	下地処理
2	塗布防水材 (0.6kg/㎡)	塗布防水材 (0.7kg/㎡)	塗布防水材 (0.7kg/㎡)
3	塗布防水材 (0.8kg/㎡)	塗布防水材 (0.8kg/㎡)	塗布防水材 (0.8kg/㎡)

当社としては導入から一貫してセレガード DS(Pタイプ)をご提供してまいりましたが、平成25年度版「建築工事標準仕様書」の中にケイ酸質系塗布防水材が導入されるにあたり、「適用は特記による。特記がない限りC-UIとする。」という文言が記載されています。

これにより公共物件等では特記がない限りIタイプを使用せざるを得ない状況となったことから、弊社でもセレガード DS-I(Iタイプ)をラインナップしました。



平成28年度版標仕

まとめ

以上の経緯から、民間物件および公共物件でも特記でC-UPと記載があるケースではセレガード DSをご使用いただき、公共物件で特記がない場合はセレガード DS-Iをご使用いただくことをお勧めいたします。

民間物件及び
公共物件で「C-UP」と特記がある場合

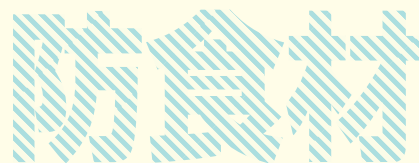
C-UP Pタイプ
セレガードDS®

公共物件で特記がない場合

C-UI Iタイプ
セレガードDS-I®



防食材 ショウゼットシリーズ



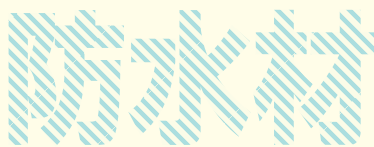
地下ピット向けに耐有機酸性、耐硫酸性に優れた適材適所の防食材を豊富にラインナップしており、上下水道施設、民間ピットなどで活躍しております。

日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」品質規格対応



安全・安心・快適な住環境と社会環境、
地球環境づくりに貢献します。

昭和電工建材株式会社



防水材 セレガード セレタック

コンクリート躯体の各部位の防水を施します。

eco
ポリマーセメント系塗膜防水材



ケイ酸質系塗布防水材(無機質浸透性塗布防水材)

セレガードDS® (粉末強化剤入)



ケイ酸質系塗布防水材(無機質浸透性塗布防水材)

セレガードDS-I®